



<会報 第85号>

事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内
〒634-0033 橿原市城殿町459
TEL 0744-26-0200
FAX 0744-26-0201
メールアドレス：gvnc@nifty.com
ホームページ：
<http://gvnc.eco.coocan.jp>

謹賀新年 本年もよろしくお祝い申し上げます

■令和3年の秋はイベントが盛り沢山

日本中が心待ちにしたオリンピックの2021年夏は、デルタ株と言う名の新型コロナウイルスに席卷され散々なものとなりましたが、何とかオリンピック・パラリンピックも終わり、秋を迎えてやっと落ち着きを取り戻したようでした。そんな中で、当クラブで取り組んだ秋のイベントも無事計画通りに参加や開催をすることができました。

①.奈良市地球温暖化防止協議会主催の森林体験講座への協力

10月2日(土)当クラブで管理している奈良市の元明陵隣接地の森林で11家族27人が受講する奈良市の森林体験講座にスタッフとして8名が参加しました。

事前に草刈りと整地を終え、当日は切り出した竹材等を用いて竹製品・生活用品作り、子供のおもちゃ作りの指導などちびっ子たちの活動を助け、この講座に大いに貢献できたと思えます。



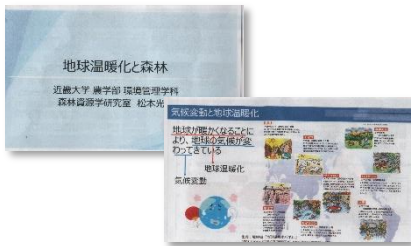
材料の竹を元気に切りだし 全員で真剣に作成

②.森林環境教育の開催

10月9日(土)当クラブ小野リーダーの企画により、昨年に続き近畿大学の松本教授を講師としてお招きして、森林環境教育の講座を会員外を含む20名の受講者で開催しました。

前半の講義では、CO2などの温室効果ガスによる地球温暖化の実態と、対する森林・樹木の役割や必要性などを具体的事例なども交え分かり易くご講義いただき、現状に対する危機感を皆共有できたと思えます。

後半のフィールドワークでは、森林を維持管理する上で必要となる樹木径や樹高の測定方法をツールなどを使い分かり易く説明いただき日常の森林ボランティア活動でも活かせるものと感じました。最後に「樹木の二酸化炭素吸収実験」を体験。光合成による植物の役割と重要性を再認識させられました。次回も期待したいものです。



近大の松本先生による講義



ヌマスギの測定



二酸化炭素吸収実験

③.国土緑化推進機構 公募事業「陀羅尼助の郷で森づくりin天川村洞川Part II」への企画と参加



11月20日(土)～21日(日)、当クラブが幹事を務める奈良県森林ボランティア連絡協議会主催のリーダー研修として、奈良県、天川村や洞川財産区などの多大なご支援をいただき、当クラブ会員14名を含め、総勢27名の参加者と10名の講師陣により二日間にわたって洞川で開催されました。

最初に当クラブ奥理事長から挨拶と要領説明を行い、洞川温泉センターそばの急斜面に5班に分かれてキハダを植樹。かなりの急斜面に安全に留意し60本以上植えつけて、元気に育つことを祈りつつ植樹を終了できました。

昼食の後は財産区の増谷議長さんにゴロゴロ水から母公堂～結界門など史実の説明を交えて洞川を案内いただき大橋茶屋へ。茶屋にて奈良県森林技術センターの酒井副所長さんからキハダの木材利用への研究成果をお聞きしてキハダの材木としての有効性を確認しました。次に鹿撃猟師さんの貴重な猟

のお話しと獲物のジビエの試食で一同舌つづみ。以上で初日のカリキュラムは終了し、宿泊先の旅館にしぎへ。夕食前に神戸大学生からの森林に関わる研究成果を拝聴しナラ枯れ原因説等大変参考になりました。(次ページへ)



キハダ植樹後の全員集合

母公堂についてうかがう

キハダの木材利用について

ジビエを試食

一夜明け二日目、洞川スキー場近くの未来基金の森に移動し、杉本森林総合監理士さんから地域おこし協力隊プロジェクトの取組みと、当地での植樹に関する説明を受け、全員でキハダを植樹。昨日のような急斜面ではないものの30年後の成長した姿を想像しながら慎重に植え付けました。その後広大な敷地の作業道を有志がMTBで豪快にライド。MTBもこの地で根付くといいですね。昼食後、天川村の新たなブランド产品となるであろうアロマオイル工房を見学。

以上で二日間にわたる洞川でのリーダー研修は終了しました。 また来年おあいしましょう・・・



PJに関する説明

植樹前で全員集合

T字に植樹していきます

MTBで豪快に

アロマオイル工房にて



■10月から12月の定例活動状況



◇10月9日(土) 参加者14名 天気晴れ

この日はもみじ谷の林内整備がメインながら、午後から森林環境教育が企画されているため、午前中だけの活動。整備としてはもみじ谷道両側の枯損木等の伐木と草刈りを中心に行った。また、この日会員の知人に依頼し製作してもらった緑化推進と当クラブの活動のPRを兼ねたカラー看板が完成したため、もみじ谷上流部に設置した。従来の白黒・文字だけのものに代わり可愛いイラストをちりばめた見栄えのする看板で、道行くハイカーの目も和ませてくれるものと思う。

別班は当クラブの横断幕が劣化・破損したため修繕を行い、クラブの象徴「幕」を守った。

◇10月23日(土) 参加者14名 天気くもり



まずまずの天気の中、午前中は全員でみんなの森の草刈りと当クラブで植樹育てた柿の収穫を行った

みんなの森では渋柿・富有柿ともに昨年よりはかなり豊かな実りとなっていて、いくつかの班に分かれ竹などを利用して収穫。三分の一程度は鳥たちの食料にと残した。

午後は、交流館周辺の生垣の剪定・散髪を行う班と平成の森で植樹した木々の足元の草刈りを行う班に分かれ充実の一日を終えた。



◇11月13日(土) 参加者19名 天気晴れ



もみじ谷の林内整備もそろそろ仕上げにかかり、この日は総勢7台もの刈払機で草刈りのローラー作戦。さすがに進捗もよく午前中で概ね目標に到達。

昼食には、女性会員により調理していただいた椎茸銀行からの椎茸の塩焼きと理事長差し入れのサツマイモの煮つけに全員で舌鼓を打った。

午後は依頼のあった国道308号線そばの枯損木を車両や通行人などに十分注意しつつ伐採し危険を取り除いた。



◇11月27日(土) 参加者15名 天気晴れ



秋も深まったこの日、1班はみんなの森の整備。かなり笹が濃くなっている森の上部に向かったが、林道がぬかるんでおり軽トラックの走行が困難で、まずは林道の整備。続いて以前に植樹した柿の木周辺に向けて藪を刈り払って進む。更に奥のほうにたわわに実を付けた柿の木があり、そこまで笹刈りを試みたものの、あまりに藪が濃く届かず今回は断念。

もう1班は杉の葉染めに向けて、杉の葉を煮沸した染め液と、竈の灰から媒染液を精製。次回の染色工程が楽しみ。



◇12月11日(土) 参加者15名 天気晴れ



午後から定期総会を開催予定のため、活動は午前中のみ
1班は前回準備を終えた杉の葉染めの本番。二週間寝かせた染液は僅かに赤味を帯びていい色合いになっている。ビー玉や輪ゴム、木片で形を付け、媒染液と染液交互に浸すと淡いピンク色に染め上がり、きれいな出来栄で大成功。



もう1班は、もみじ谷の緑の募金事業。ナラ枯れによる枯損木の伐採作業と谷筋におちている倒木処理を中心に行った。沿道山側にあった40cmを超える大径木の伐採では第三者への安全に十分配慮するため、監視と連絡合図を強化して、ハイカーさん達が安心して通れる山道となるよう努めた。



◇12月25日(土) 参加者18名 天気くもり



令和3年の活動も本日で終了、午前中は大掃除で日頃使う道具や材料の整備やゴミ出しをしてきばきと。また竹林整備を兼ねて門松用の竹も調達。納会準備では餅つき機2台を使う。おぜんざい、きな粉、大根おろしとそれぞれ好みの味付けでつくたてのお餅を楽しむ準備と、理事長に提供いただいた紅はるかをダッチオーブンで焼いた焼き芋、下仁田ネギやシタケの網焼きもメニューに加わり豪華なランチになった。順調に作業は進み納会へ。



最初に今年逝去された3名のご冥福を祈り全員で黙祷。続いて奥理事長による年末の挨拶の後、ぜんざいやきな粉餅、焼きネギやサツマイモ・椎茸の焼き物を一同おいしくいただきながら、一年をふりかえった。その後、藁からのしめ縄作りや門松作りを楽しんだ後、交流館入口に飾って活動納めを締めくくった。一年間お疲れ様でした。



■10月から12月の自主活動状況



林野庁が支援する事業の2年目として、小笹の辻休憩所先から前に三角点が置かれていた場所を通り頂上展望台手前まで人工林を含む里山林保全として、今期は左記の点線内の人工林の間伐や枯損木処理を中心に取り組んだ。

□10月3日(日) 参加者8名 天気晴れ

旧三角点周辺の倒木・枯損木処理と下草刈りを行った。笹数も多く、倒木や枝を横に伸ばす樹木やナラ枯れの木などを整理し、明るい陽のさす尾根を復活させた。



□10月20日(水) 参加者5名 天気晴れ

旧三角点南側斜面に広がっている濃い笹藪の整理をメインにナラ枯れや倒木の処理を中心に取り組んだ

かなりの急斜面に背が高く濃い笹がツル性の植物とともに茂っており、刈払機による刈り取りは難しく、チェーンソーや鋸で少しずつ除去。併せて中にある倒木や枯損木も処理し、密だった藪が明るい陽射しのさす斜面と様変わりした。



□11月7日(日) 参加者8名 天気晴れ



この日から本格的な桧人工林の間伐作業を開始。併せてところどころに残るナラ枯れなどの枯損木も処理していく。
 桧の伐倒は難しい。枝が強固で掛かり木になると簡単には倒れてくれない。ロープやクサビに加えフェリングレバーもうまく活用しながら何とか寝かせて3m程度に切りそろえていった。



□11月17日(水) 参加者6名 天気晴れ



この日も桧人工林の間伐がメイン
 暗い林も間伐を進めることで明るい林に生まれ変わっていくのが面白い。
 ただ、やはり強い枝でかかり木は多く、その後処理には手間がかかる。安全に進めていく上でも勉強になる作業が続く。

□12月5日(日) 参加者8名+見学1名 天気晴れ



自主活動は、桧人工林の間伐がメインでだんだんと頂上展望台に近づく
 この日は洞川でのリーダー研修に参加した女子大生が見学で参加してくれた。俄然皆張り切る!?
 2班に別れて間伐を開始するがやはりかかり木が多く、2班とも苦勞するが、何とか予定通りの作業を無事完了した。



□12月15日(水) 参加者6名 天気晴れ

今年最後の自主活動日、晴天に恵まれてよかった。
 場所はまほろば展望休憩所下の北側斜面。まず既にかかり木になっている桧の枯れた高木から伐採。確実にかかり木なので2つのプラロックとロープで確保し、なんとか伐倒に成功。その桧でハイカー休憩用のベンチも作製した。更に2本の間伐を終え、本年最終の活動を完了。



■令和3年度の通常(定期)総会を開催

12月11日(土)13時30分から通常総会を開催。有効会員数28名に対して出席者14名、委任8名で総会が成立しました。奥村さんを議長に選任し、議事録署名人として小野さん・山本さんを委嘱。議事に入り、令和二年度事業報告書・会計報告はともにも了承。令和3年度事業計画・令和3年度活動予算についても了承も、緑の募金事業や林野庁事業等に合わせ、年度を現状の10月～翌9月のものを4月～翌3月へ見直してはとの提案があり、来年の総会で提起する旨了承されました。

最終議案の役員改選で奥理事長から、死去された会員と退会者の報告があり、

- ・逝去された会員 : 川本さん、弘田さん、岡本(治)さん
- ・退会された会員 : 内山さん、中村さん、竹林さん

(亡くなった方のご冥福をお祈りするとともに、退会された皆様の長年の貢献に感謝申し上げます)

当クラブ会員の高齢化が顕著になってきたので、小野理事より強い危機感が表明され、今後クラブを強固にしていくための会員拡大策等が大切であることで意見の一致を見ました。

改選は、山本(宏)さんの後任会計監査に幸田さん。理事を退く平武さん、岡本(治)さんの後任に山本(清)さん、衛藤。平武さんお疲れさまでした今後もよろしく願います。・岡本(治)さん・山本(宏)さんありがとうございました。



■発行人 NPO法人 森づくり奈良クラブ
 奥 恵一郎

〈後記〉日本の高齢化傾向と同じく、クラブも高齢化。体力的な限界を感じて退会される方が増えてきたように思いますが、体力低下=退会ではもったいないのでは。例えば名誉会員として、経験を活かしイベント等で指導や会報・HPに経験談や意見などをいただくなどできないものかな?と考える今日この頃です(衛藤)